

## 平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年2月5日

上場会社名 株式会社 コーセー  
 コード番号 4922 URL <http://www.kose.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 一俊  
 問合せ先責任者 (役職名) IR課長 (氏名) 中田 仁典  
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月13日

上場取引所 東

TEL 03-3273-1511

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	135,448	—	9,764	—	9,527	—	3,511	—
20年3月期第3四半期	136,312	2.2	13,634	12.7	14,123	13.8	6,812	17.9

  

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	60.34	—
20年3月期第3四半期	113.58	—

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	167,457	—	104,134	—	58.7	—	1,693.94	—
20年3月期	172,128	—	105,048	—	58.1	—	1,693.55	—

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 98,330百万円 20年3月期 100,000百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
21年3月期	—	20.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	181,500	0.7	13,400	△11.8	13,600	△8.4	5,700	△17.4	98.01

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

## 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有  
 ② ①以外の変更 有

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 60,592,541株 20年3月期 60,592,541株  
 ② 期末自己株式数 21年3月期第3四半期 2,544,433株 20年3月期 1,544,258株  
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第3四半期 58,192,389株 20年3月期第3四半期 59,978,079株

## ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が発表日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は経済情勢の変動等に伴うリスクや様々な不確定要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、【定性的情報・財務諸表等】 3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

第3四半期連結累計期間（平成20年4月1日から平成20年12月31日まで）

事業区分	前第3四半期 累計		当第3四半期 累計		前年同期比較	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
化粧品	100,373	73.6	100,351	74.1	△21	△0.0
コスメタリー	33,866	24.9	33,683	24.9	△183	△0.5
その他	2,072	1.5	1,413	1.0	△659	△31.8
売上高計	136,312	100.0	135,448	100.0	△864	△0.6

※ 前年同期比較数値につきましては参考値として記載しております。

区分	前第3四半期 累計		当第3四半期 累計	
	金額 (百万円)	売上比 (%)	金額 (百万円)	売上比 (%)
営業利益	13,634	10.0	9,764	7.2
経常利益	14,123	10.4	9,527	7.0
四半期純利益	6,812	5.0	3,511	2.6

当第3四半期連結累計期間（平成20年4月1日から平成20年12月31日まで）における当社グループの業績につきましては、景況感の悪化に伴い個人消費が弱まったことや円高の影響もあり、化粧品事業、コスメタリー事業、その他の事業のいずれも前年を下回り、売上高は135,448百万円（前年同期比0.6%減）となりました。なお、海外売上高の為替の影響を除くと前年同期比0.0%増となります。

利益につきましては、売上原価率の上昇や本社移転関連費用等の発生もあり、営業利益は9,764百万円、経常利益は9,527百万円、四半期純利益は3,511百万円となりました。

化粧品事業につきましては、国内では、化粧品専門店や百貨店で扱う高級品の育成に努めたほか、「雪肌精シュープレム」の発売や「インフィニティ」取扱店舗の拡大など、カウンセリング販売に力を注ぎました。海外においては、既存ブランドの拡大に取り組んだほか、台湾に「ジルスチュアート」を導入するなど、ブランド展開の強化を図りました。しかしながら、為替相場が円高基調で推移したことにより、円換算ベースでの売上高は前年同期並みとなりました。これらの結果、当事業の売上高は100,351百万円（同0.0%減）、営業利益は11,197百万円となりました。

コスメタリー事業につきましては、主力となるブランドのリニューアルやアイテムの充実を行ったほか、効果的な広告宣伝・販売促進活動を実施してブランドの活性化と顧客の拡大に努めました。一方で、前年同期における新製品投入の反動や、取引店改革に伴う影響もありました。その結果、当事業の売上高は33,683百万円（同0.5%減）、営業利益は515百万円となりました。

その他の事業につきましては、前期に子会社2社を売却したこともあり、売上高は1,413百万円（同31.8%減）、営業利益は258百万円となりました。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

資産は、前連結会計年度末に比べ4,671百万円の減少となりました。現金及び預金の増加2,233百万円、有価証券の減少5,114百万円、商品及び製品の増加356百万円、有形固定資産の増加1,015百万円、無形固定資産の減少676百万円、及び投資有価証券の減少4,929百万円等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ3,757百万円の減少となりました。支払手形及び買掛金の増加2,698百万円、未払法人税等の減少2,732百万円、退職給付引当金の減少1,699百万円等によるものであります。

なお、有利子負債残高は4,576百万円、デット・エクイティ・レシオは0.05倍となりました。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成20年11月6日に発表しました連結業績予想は変更ありません。

#### 4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）  
該当事項はありません。

- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第2四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、営業循環過程から外れた滞留又は処分見込等の棚卸資産で第2四半期連結会計期間末において帳簿価額を処分見込価額まで切り下げているものについては、第2四半期連結会計期間末以降に著しい変化がないと認められる限り、第2四半期連結会計期間末における四半期連結貸借対照表価額で計上する方法によっております。

② 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、親会社及び一部の連結子会社において、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

また、繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるものについては、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

- ① 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

- ② 重要な資産の評価基準及び評価方法の変更

たな卸資産

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として総平均法による原価法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。

これによる損益への影響はありません。

- ③ 「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

第1四半期連結会計期間より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第18号 平成18年5月17日）を適用し、連結決算上必要な修正を行っております。

これによる損益への影響は軽微であります。

- ④ リース取引に関する会計基準の適用

所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第13号（平成5年6月17日（企業会計審議会第一部会）、平成19年3月30日改正））及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第16号（平成6年1月18日（日本公認会計士協会 会計制度委員会）、平成19年3月30日改正））が平成20年4月1日以降開始する連結会計年度に係る四半期連結財務諸表から適用することができることになったことに伴い、第1四半期連結会計期間からこれらの会計基準等を適用し、通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理によっております。また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。なお、リース取引開始日が適用初年度前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を引き続き採用しております。

これによる影響は軽微であります。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	21,340	19,107
受取手形及び売掛金	25,646	24,735
有価証券	23,761	28,875
商品及び製品	11,494	11,137
仕掛品	1,527	1,299
原材料及び貯蔵品	10,692	8,862
繰延税金資産	3,998	4,725
その他	2,199	2,035
貸倒引当金	△342	△276
流動資産合計	100,317	100,502
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	31,244	28,420
減価償却累計額	△17,269	△16,653
建物及び構築物（純額）	13,975	11,767
機械装置及び運搬具	13,851	13,855
減価償却累計額	△11,687	△11,507
機械装置及び運搬具（純額）	2,164	2,347
工具、器具及び備品	26,641	25,474
減価償却累計額	△21,008	△19,857
工具、器具及び備品（純額）	5,632	5,616
土地	17,746	17,773
リース資産	77	—
減価償却累計額	△6	—
リース資産（純額）	71	—
建設仮勘定	256	1,326
有形固定資産合計	39,847	38,831
無形固定資産		
ソフトウェア	2,142	2,947
その他	729	600
無形固定資産合計	2,872	3,548
投資その他の資産		
投資有価証券	8,231	13,161
繰延税金資産	12,872	13,260
その他	3,600	3,070
貸倒引当金	△283	△246
投資その他の資産合計	24,421	29,246
固定資産合計	67,140	71,625
資産合計	167,457	172,128

(単位：百万円)

当第3四半期連結会計期間末  
(平成20年12月31日)

前連結会計年度末に係る  
要約連結貸借対照表  
(平成20年3月31日)

負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,701	14,002
短期借入金	4,501	4,824
リース債務	19	—
未払金	6,027	6,686
未払費用	4,786	7,288
未払法人税等	979	3,711
未払消費税等	563	617
返品調整引当金	2,388	2,321
その他	1,952	692
流動負債合計	37,920	40,145
固定負債		
リース債務	55	—
退職給付引当金	21,498	23,197
役員退職慰労引当金	3,806	3,649
その他	41	87
固定負債合計	25,402	26,935
負債合計	63,323	67,080
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,848	4,848
資本剰余金	6,390	6,391
利益剰余金	93,746	92,577
自己株式	△7,228	△4,789
株主資本合計	97,757	99,027
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	135	230
為替換算調整勘定	436	743
評価・換算差額等合計	572	973
少数株主持分	5,804	5,047
純資産合計	104,134	105,048
負債純資産合計	167,457	172,128

(2) 四半期連結損益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
売上高	135,448
売上原価	34,325
売上総利益	101,123
販売費及び一般管理費	
広告宣伝費	7,014
販売促進費	28,977
運賃及び荷造費	4,020
給料及び手当	28,887
退職給付費用	606
福利厚生費	4,984
減価償却費	2,098
その他	14,769
販売費及び一般管理費合計	91,358
営業利益	9,764
営業外収益	
受取利息	257
受取配当金	92
雑収入	182
営業外収益合計	532
営業外費用	
支払利息	50
為替差損	701
雑損失	17
営業外費用合計	769
経常利益	9,527
特別利益	
固定資産売却益	0
投資有価証券売却益	36
移転補償金	85
特別利益合計	122
特別損失	
固定資産処分損	226
投資有価証券評価損	206
その他	7
特別損失合計	439
税金等調整前四半期純利益	9,210
法人税、住民税及び事業税	3,670
法人税等調整額	1,184
法人税等合計	4,855
少数株主利益	843
四半期純利益	3,511

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

当第3四半期連結累計期間  
(自 平成20年4月1日  
至 平成20年12月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	9,210
減価償却費	4,003
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	106
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△1,699
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	156
その他の引当金の増減額 (△は減少)	67
固定資産処分損益 (△は益)	225
移転補償金	△85
受取利息及び受取配当金	△349
支払利息	50
為替差損益 (△は益)	354
投資有価証券売却損益 (△は益)	△36
投資有価証券評価損益 (△は益)	206
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,246
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△2,640
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,258
その他の資産の増減額 (△は増加)	△157
その他の負債の増減額 (△は減少)	△688
小計	9,736
利息及び配当金の受取額	327
利息の支払額	△38
移転補償金の受取額	85
法人税等の支払額	△6,413
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,697
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△400
定期預金の払戻による収入	300
有価証券の取得による支出	△18,976
有価証券の売却による収入	24,061
有形固定資産の取得による支出	△4,471
有形固定資産の売却による収入	10
無形固定資産の取得による支出	△713
投資有価証券の取得による支出	△337
投資有価証券の売却による収入	4,816
投資その他の資産の増減額 (△は増加)	△611
投資活動によるキャッシュ・フロー	3,677
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△317
自己株式の純増減額 (△は増加)	△2,439
配当金の支払額	△2,341
少数株主への配当金の支払額	△72
その他	△6
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,178
現金及び現金同等物に係る換算差額	△182
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,014
現金及び現金同等物の期首残高	34,093
現金及び現金同等物の四半期末残高	36,108

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

当第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

	化粧品事業 (百万円)	コスメタリー 事業 (百万円)	その他の事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	100,351	33,683	1,413	135,448	—	135,448
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	1,742	1,742	(1,742)	—
計	100,351	33,683	3,155	137,190	(1,742)	135,448
営業利益	11,197	515	258	11,970	(2,206)	9,764

(注) 事業区分の方法及び各区分に属する主要な製品の名称

事業区分は、内部組織管理上採用している区分によっております。

(化粧品事業) 主要製品：コーセー・ポーテード コーセー・コスメデコルテ・プレディア・インフィニティ・製商品輸出・海外生産品・クリエ・アルビオン

(コスメタリー事業) 主要製品：ファシオ・エルシア・サロンスタイル・ソフティモ・ステイブンノル コレクション・リンメル

(その他の事業) 主要製品：アメニティ製品・不動産賃貸・原材料輸出

b. 所在地別セグメント情報

当第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

全セグメントの売上高の合計に占める「日本」の割合が90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

c. 海外売上高

当第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

海外売上高が連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

平成20年5月15日から平成20年6月6日までに、自己株式を市場買付けにより取得いたしました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が2,438百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が7,228百万円となっております。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

科目	前第3四半期 自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日
	金額 (百万円)
売上高	136,312
売上原価	33,012
売上総利益	103,300
販売費及び一般管理費	89,665
営業利益	13,634
営業外収益	
受取利息及び受取配当金	299
為替差益	1
その他の営業外収益	252
営業外収益計	553
営業外費用	
支払利息	42
その他の営業外費用	22
営業外費用計	64
経常利益	14,123
特別利益	72
特別損失	284
税金等調整前四半期純利益	13,911
法人税、住民税及び事業税	5,664
法人税等調整額	469
少数株主利益	966
四半期純利益	6,812

## (2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前第3四半期 自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日
区分	金額 (百万円)
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純利益	13,911
減価償却費	3,974
貸倒引当金の増減額 (減少: △)	116
退職給付引当金の増減額 (減少: △)	△1,902
役員退職慰労引当金の増減額 (減少: △)	210
固定資産処分損益 (益: △)	94
受取利息及び受取配当金	△299
売上債権の増減額 (増加: △)	577
たな卸資産の増減額 (増加: △)	△2,414
仕入債務の増減額 (減少: △)	1,802
その他	△4,573
小計	11,496
利息及び配当金の受取額	305
利息の支払額	△75
法人税等の支払額	△6,013
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,713

	前第3四半期 自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日
区分	金額（百万円）
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
定期預金等の預入・払戻による収支（支出：△）	1,790
有価証券の増減額（増加：△）	903
有形固定資産の取得による支出	△4,207
有形固定資産の売却による収入	4
無形固定資産の取得による支出	△236
投資有価証券の取得による支出	△1,304
投資有価証券の売却等による収入	412
その他	△93
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,731
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
短期借入金の増減額（減少：△）	167
長期借入金の返済による支出	△1,500
自己株式の売却・取得による収支（支出：△）	△1,933
配当金の支払額	△2,467
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,734
<b>IV 現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	△80
<b>V 現金及び現金同等物の増減額（減少：△）</b>	△2,832
<b>VI 現金及び現金同等物の期首残高</b>	31,119
<b>VII 現金及び現金同等物の四半期末残高</b>	28,287